

いび茶味や香り良好

揖斐川町 一番茶の初共販会

県内有数のブランド茶「美濃いび茶」の一番茶の初共販会が揖斐郡揖斐川町

極楽寺のJA全農岐阜美濃茶流通センターで行われ、茶商たちが茶葉を手にとって香りや色、品質を見定めていた。最高価格は1キ12万円でいび茶の里(同町)が落札。1キ当たりの平均

価格は昨年より約500円高い2522円だった。

美濃いび茶は揖斐川町と同郡池田町で生産。全国農業協同組合連合会県本部(JA全農岐阜)の担当者によると、今年は4月に入り気候が安定し、十分な日照と適度な降雨もあって生育は順調に進み、「例年に

なく味や香りは非常に良好」としている。

共販会には今週に入って摘まれた3147キが出品され、県内外の13業者16

人が皿に盛られた茶葉を手にとって色や香りを確認し、飲み比べもしていた。

長柄澄男共販委員長は「今年は色や形が良い。60度ぐ

らいのお湯でじっくりと温めて飲んでほしい」と話した。

一番茶の共販会は計4回行われる予定。(湯浅裕作)



一番茶の色や香りを人念に確認する茶商たち。揖斐郡揖斐川町極楽寺、JA全農岐阜美濃茶流通センター